

平成22年度施工効率向上プロジェクトに関するアンケート結果 及び 平成23年度重点方針について

アンケート調査の実施

受発注者間のコミュニケーションの円滑化、生産性の向上を図るため、「三者会議」、「設計変更審査会」、「ワンデーレスポンス」等の取り組みを進めているところであるが、各現場における取り組みの課題、今後の方向性を検討するため、発注者・施工者・設計者に対してアンケートを実施

- ・実施日：平成23年1月13日～2月7日
- ・対象者：代表工事(1904件)の担当者(施工者：担当技術者、設計者：三者会議に出席した担当者、発注者：主任監督員・発注担当者)

区分		依頼件数 A	提出件数 B	回収率 B/A	回収率平均
発注者	三者会議	767	667	87.0%	81.5%
	設計変更審査会	2,013	1,541	76.6%	
	ワンデーレスポンス	2,589	2,099	81.1%	
施工者	三者会議	1,425	1,293	90.7%	89.1%
	設計変更審査会	1,718	1,529	89.0%	
	ワンデーレスポンス	2,006	1,758	87.6%	
設計者	三者会議	660	495	75.0%	75.0%

平成22年度の重点方針

三者会議

- ①重要構造物工事については全て実施する。受発注者の協議により、これ以外の工事についても対象とする。
 - ・橋梁、トンネル、樋門等の重要構造物工事は全て実施、その他、法面工、擁壁工など、必要に応じ対象にする
- ②受発注者の協議により、現場開催とする。
 - ・重要構造物の変更を伴う場合や現地状況と設計時との相違がある場合 等
- ③受発注者の協議により、複数開催とする。
 - ・大幅な設計変更等が発生した場合や重要構造物の変更が発生した場合 等
- ④議事録を作成し、情報共有する。
 - ・議事録を作成し、三者で情報共有する。

設計変更審査会等

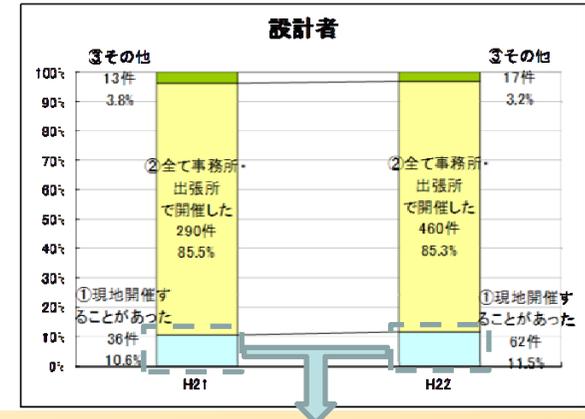
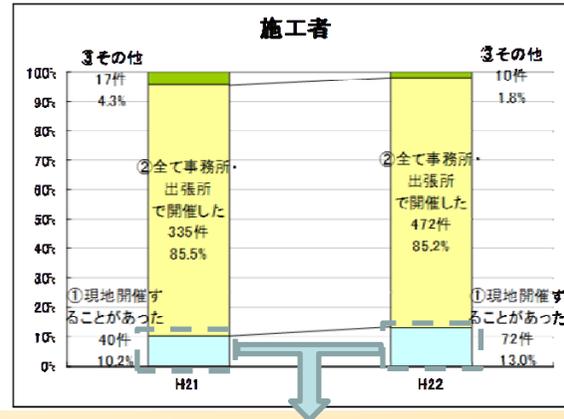
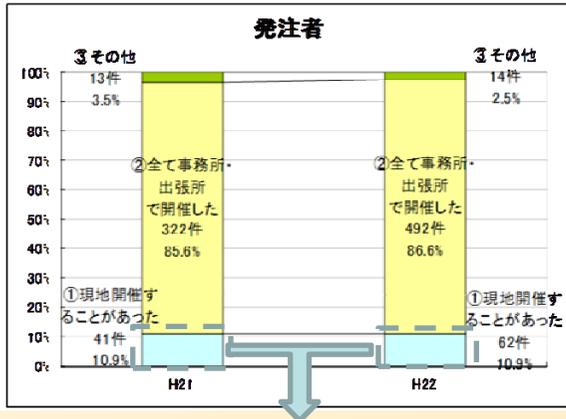
- ①全ての工事について、軽微な数量精算等の変更以外は、設計変更審査会の対象とし、受注者からの協議を受け付ける。
 - ・構造変更、現地条件変更時 ・工事の一部、一時停止時 等
- ②受発注者の協議により、現場開催とする。
 - ・現地条件の大幅な変更を伴う場合や資料等で説明し難く、現場開催の方が効率的な場合 等
- ③議事録を作成し、情報共有する。
 - ・議事録を作成し、情報共有する。
- ④設計変更ガイドライン、設計変更審査会の周知を図る。
 - ・引き続き特記仕様書に記載し、講習会等により周知を図る。
- ⑤設計変更に係る資料の簡素化
 - ・パイロット調査を踏まえて、簡素化を検討する。

ワンデーレスポンス

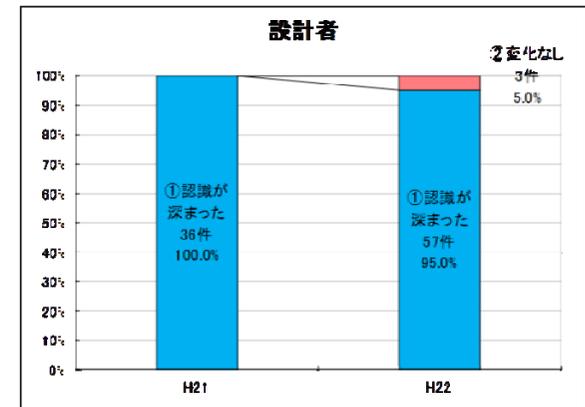
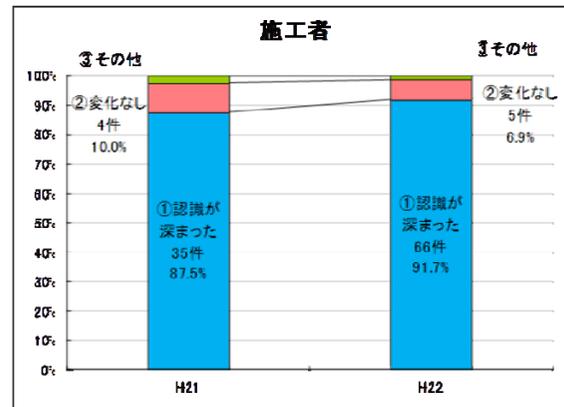
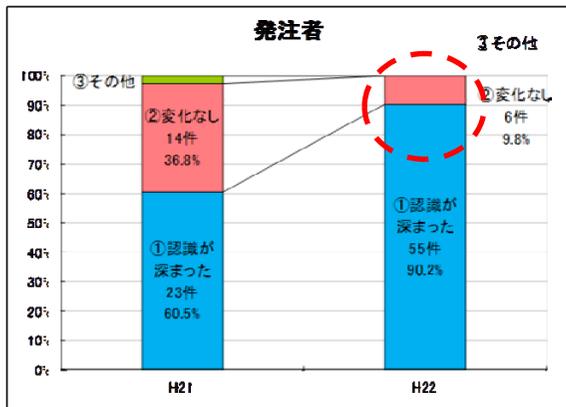
- ①引き続き、全工事でワンデーレスポンスを実施する。
 - ・H21年度より、河川・道路の直轄工事全てで実施中
- ②ASPの導入推進を図る。
 - ・H21年度下半期より、約1,000件の直轄工事で実施中
 - ・試行状況について、受発注者にアンケート調査を実施中であり、課題の抽出、対応策を検討する。
- ③回答にあたっては、回答時期を明示する。
 - ・適切に回答するため、また、全て1日で回答するという誤解を防ぐ意味でも、回答時期を明示する。
- ④必要に応じ、施工者からの回答期限の提示を求める。
 - ・適切に回答をするため、施工者から回答期限の提示を求める。

三者会議(現場開催)

【現場開催の状況】 現場開催割合は1割程度で変化なし



【現場開催の効果】 現場開催により認識が深まったという意見が多数



【どのような場合に現場開催すべきか】

(※発:発注者、施:施工者、設:設計者)

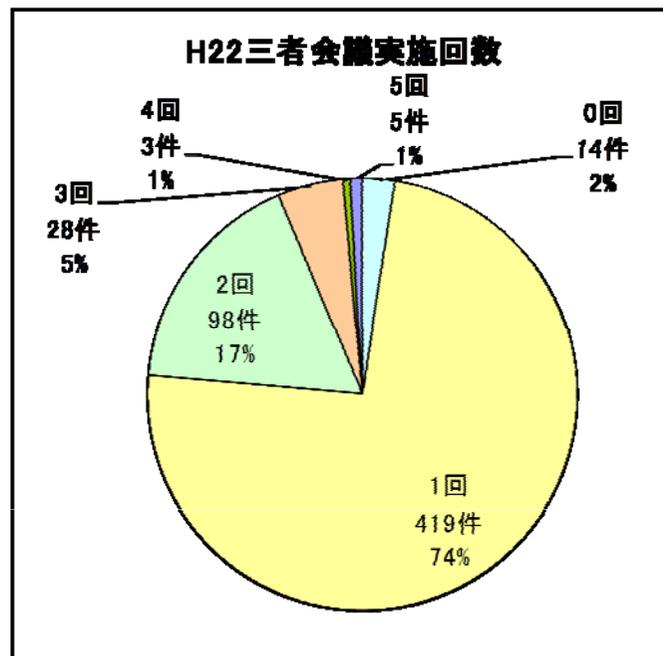
- ・現地条件に設計と変更が生じた時など、現地確認が必要な場合(発、施、設)(97件)
- ・設計内容、現場状況により個別判断が必要な場合(発、施、設)(88件)



平成23年度についても**現在の重点方針を踏襲**し、現地状況の大幅な変更が生じた場合等には受発注者の協議により、現地開催とする。

三者会議(複数開催)

【三者会議の開催回数】 複数回の三者会議は25%程度の工事で開催。



【どのような場合に複数回、会議を開催したか】

(※発:発注者、施:施工者、設:設計者)

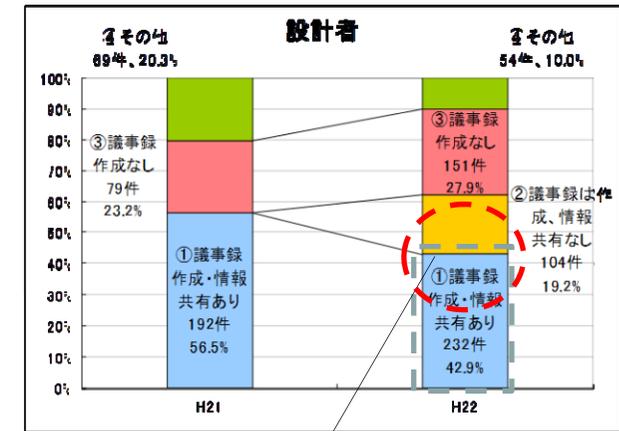
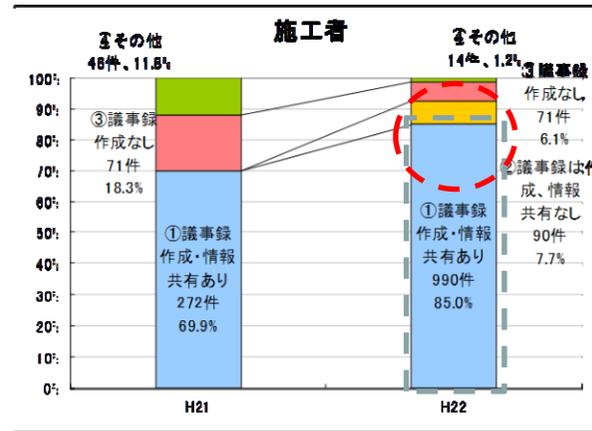
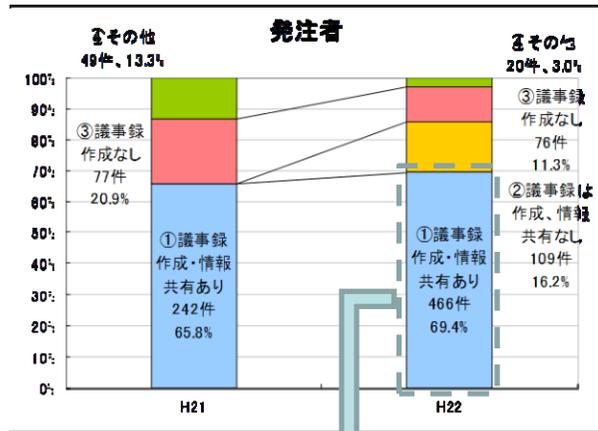
- ・設計照査終了時と設計条件変更時(発・施・設)(90件)
- ・構造に影響を与えるような主要なものの変更がある場合(施・設)(63件)

工事着手時(設計照査終了時)と、構造への影響を与えるような主要な変更時に、三者会議を複数回開催しており、現在の重点方針に沿った取組となっている。

しかし、未だ3/4の工事で三者会議開催が1回のみとなっており、必要に応じて複数回開催する取組を継続することとし、平成23年度についても**現在の重点方針(複数回開催)**を踏襲。

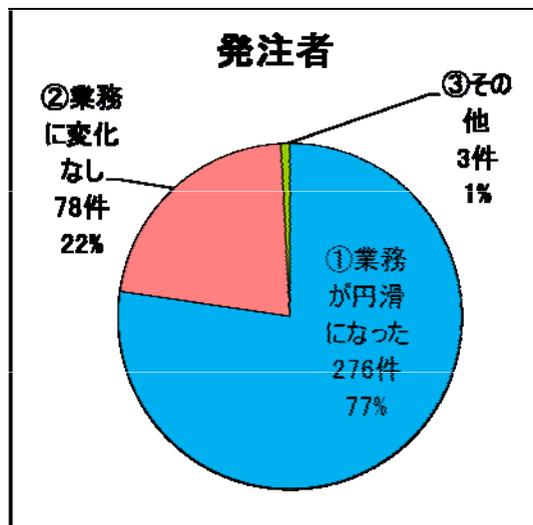
三者会議(議事録作成・情報共有)

【議事録の作成・情報共有】 施工者では情報共有が向上。設計者では低下。



議事録作成は若干向上。
情報共有の割合は低下

【情報共有の効果】 業務が円滑になったという意見が多数



【改善してほしい事項】

- ・発注者による議事録作成、情報共有の徹底 (発、施、設) (98件)

(※発:発注者、施:施工者、設:設計者)

作成者が明確でないため、情報共有がうまく進んでいない部分が見られる。
よって、平成23年度の重点方針では、**会議進行、議事録作成を発注者が行うとともに、3者間での情報共有を徹底する。**

三者会議 重点方針

・アンケート結果等を踏まえ、「三者会議」の重点方針を以下のとおりとし、H23年度より、各地整等で展開

平成22年度 重点方針

- ①重要構造物工事については全て実施する。
受発注者の協議により、これ以外の工事についても対象とする。
・橋梁、トンネル、樋門等の重要構造物工事は全て実施
・その他、法面工、擁壁工など、必要に応じ対象にする
- ②受発注者の協議により、現場開催とする。
・重要構造物の変更を伴う場合
・現地状況と設計時との相違がある場合 等
- ③受発注者の協議により、複数開催とする。
・大幅な設計変更等が発生した場合
・重要構造物の変更が発生した場合 等
- ④議事録を作成し、情報共有する。
・議事録を作成し、三者で情報共有する。

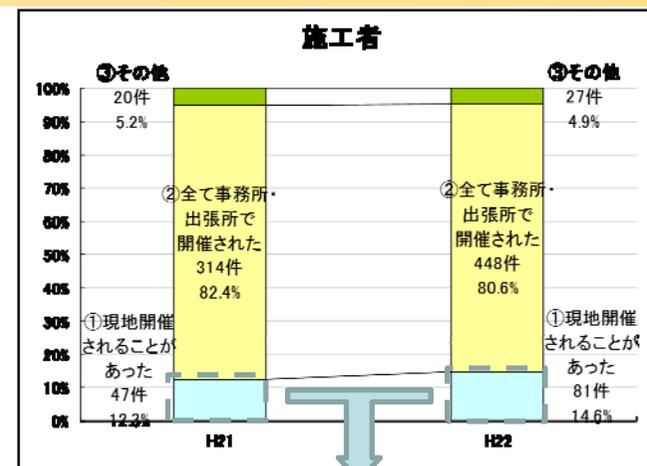
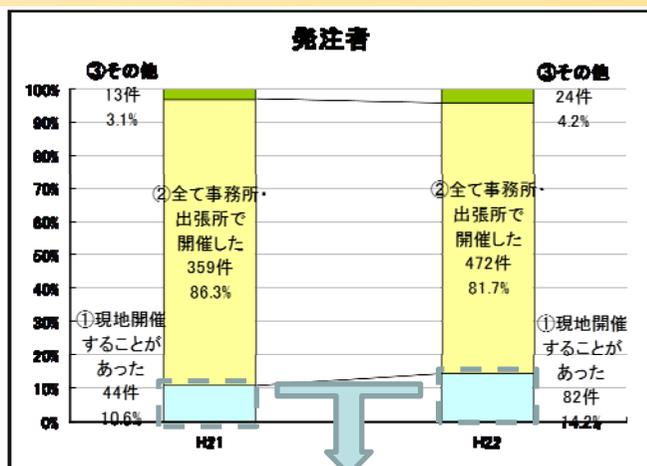


平成23年度 重点方針

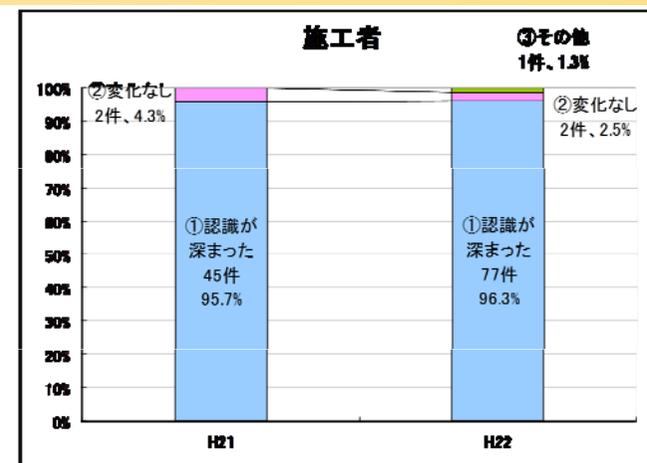
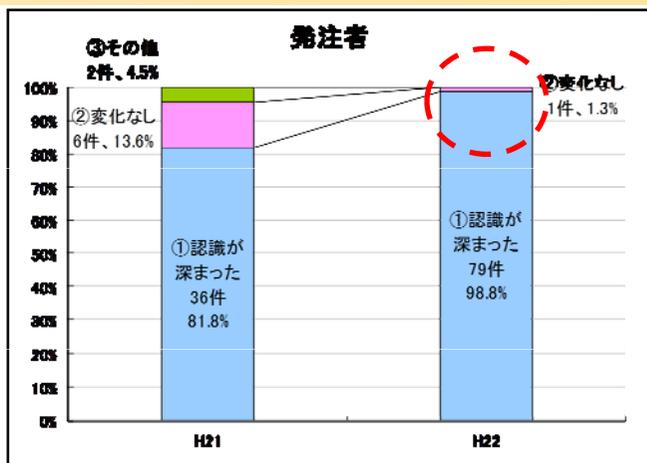
- ①重要構造物工事については全て実施する。
受発注者の協議により、これ以外の工事についても対象とする。
・橋梁、トンネル、樋門等の重要構造物工事は全て実施
・その他、法面工、擁壁工など、必要に応じ対象にする
- ②受発注者の協議により、現場開催とする。
・重要構造物の変更を伴う場合
・現地状況と設計時との相違がある場合 等
- ③受発注者の協議により、複数開催とする。
・大幅な設計変更等が発生した場合
・重要構造物の変更が発生した場合 等
- ④議事進行、議事録作成、情報共有等の主体を明確にする。
・発注者が議事進行を行い、議事録を作成し、三者間での情報共有を徹底する。

設計変更審査会(現場開催)

【現場開催の状況】 現場開催は1.5割程度でほぼ変化なし



【現場開催の効果】 現場開催により「認識が深まった」との意見が多数



【どのような場合に現場開催すべきか】

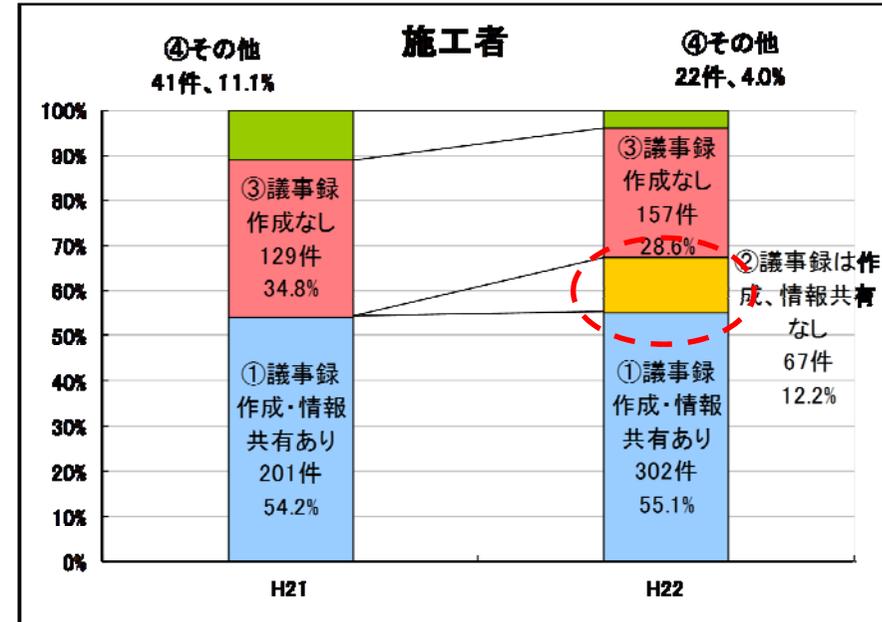
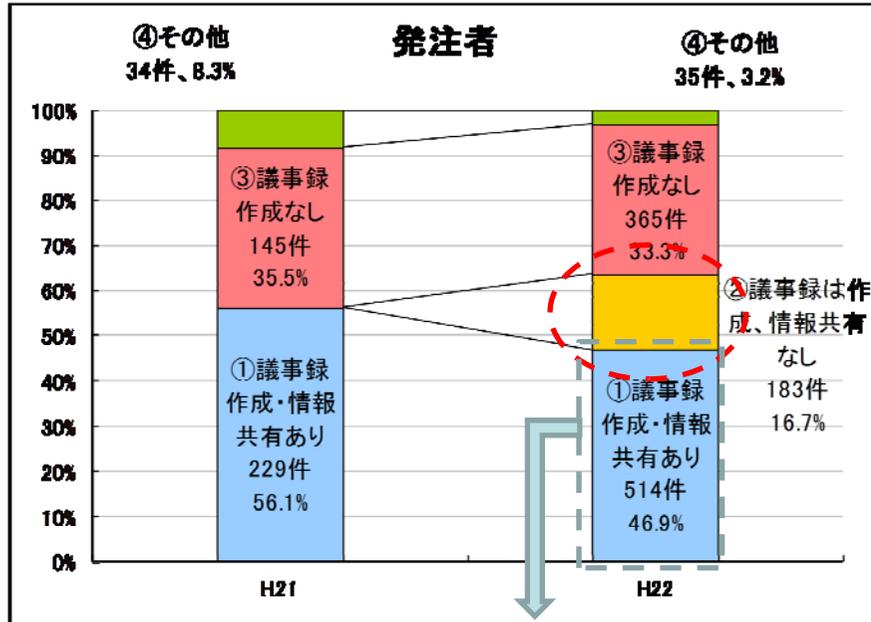
(※発:発注者、施:施工者)

- ・現地条件に変更が生じたなどの現地確認、説明が必要な場合(発、施)(60件)

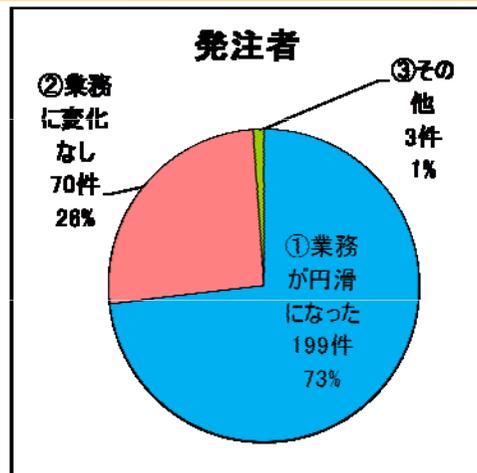
平成23年度についても現在の重点方針を踏襲し、現地状況の大幅な変更が生じた場合等には受発注者の協議により、現地開催とする。

設計変更審査会(議事録作成・情報共有)

【議事録の作成・情報共有】 6割以上で記事録作成、4割以上で情報共有されている状況



【情報共有の効果】
業務が円滑になったという意見が多数



【改善してほしい事項】

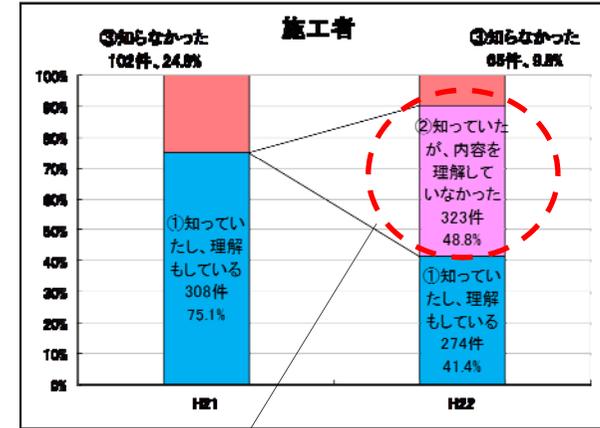
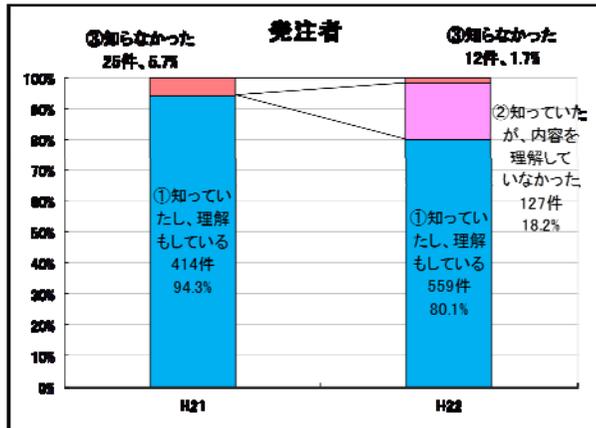
- ・議事録作成、情報共有の徹底 (発、施) (67件)

(※発:発注者、施:施工者)

作成者が明確でないため、情報共有がうまく進んでいない部分が見られる。
よって、平成23年度の重点方針では、議事録の作成、情報共有の更なる徹底を図る。

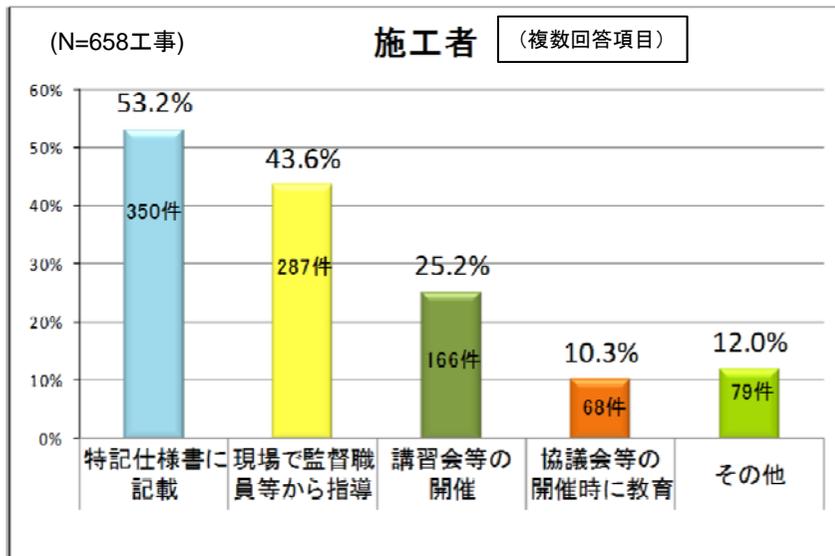
設計変更審査会(設計変更ガイドラインについて)

【設計変更ガイドラインの認識】 周知については概ね進んでいるが、内容の理解促進が必要



認知度は9割まで向上
一方、内容の理解は4割程度

【設計変更ガイドラインをどのようにして知ったか】
特記仕様書及び監督職員等からの指導による認知が約半数



施工者は、設計変更ガイドラインについては知っているが、内容の理解の促進が必要な結果となった。
よって、平成23年度の重点方針では、設計変更ガイドラインの内容について、講習会や現場監督員からの周知を図る。

設計変更審査会 重点方針

- ・アンケート結果等を踏まえ、「設計変更審査会」の重点方針を以下のとおりとし、H23年度より、各地整等で展開

平成22年度 重点方針

- ①全ての工事について、軽微な数量精算等の変更以外は、**設計変更審査会の対象とし、受注者からの協議を受け付ける。**
 - ・構造変更、現地条件変更時
 - ・工事の一部、一時停止時 等
- ②受発注者の協議により、現場開催とする。
 - ・現地条件の大幅な変更を伴う場合
 - ・資料等で説明し難く、現場開催の方が効率的な場合 等
- ③議事録を作成し、情報共有する。
 - ・議事録を作成し、情報共有する。
- ④設計変更ガイドライン、設計変更審査会の周知を図る。
 - ・引き続き特記仕様書に記載するとともに、講習会等により周知を図る。
- ⑤設計変更に係る資料の簡素化
 - ・パイロット調査を踏まえて、簡素化を検討する。

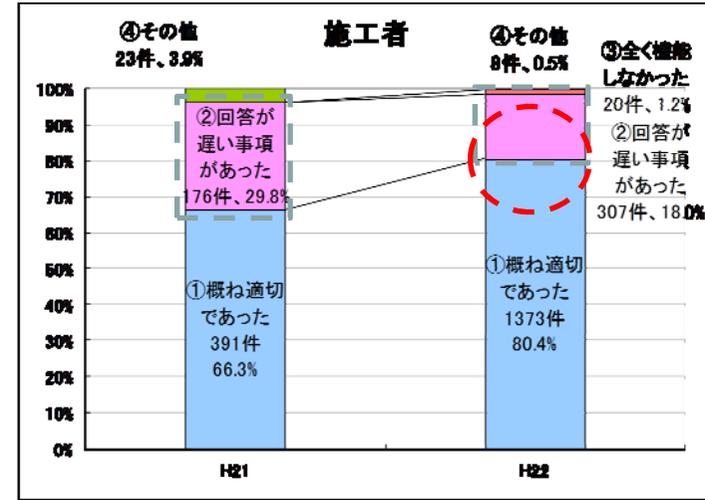
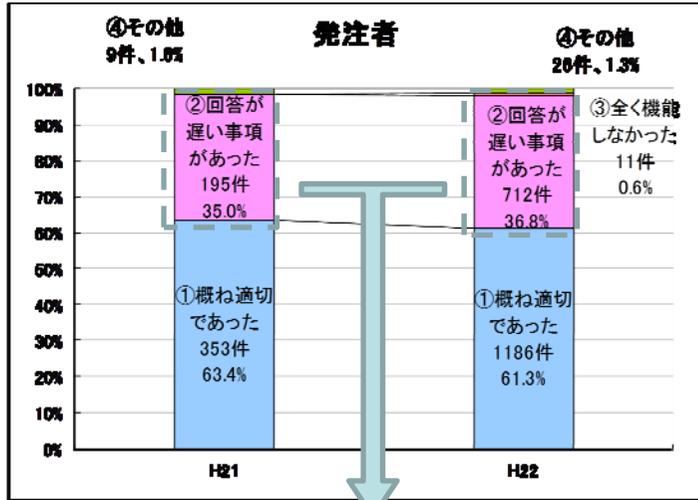


平成23年度 重点方針

- ①全ての工事について、軽微な数量精算等の変更以外は、**設計変更審査会の対象とし、受注者からの協議を受け付ける。**
 - ・構造変更、現地条件変更時
 - ・工事の一部、一時中止時 等
- ②受発注者の協議により、現場開催とする。
 - ・現地条件の大幅な変更を伴う場合
 - ・資料等で説明し難く、現場開催の方が効率的な場合 等
- ③**議事進行、議事録作成、情報共有等の主体を明確にする。**
 - ・議事録を作成し、情報共有を徹底する。
- ④設計変更ガイドライン、設計変更審査会の周知を図る。
 - ・引き続き特記仕様書に記載するとともに、講習会や現場監督員からの周知を図る。
- ⑤設計変更に係る資料の簡素化
 - ・アンケート結果を踏まえて、簡素化を検討する。

ワンデーレスポンス(回答状況)

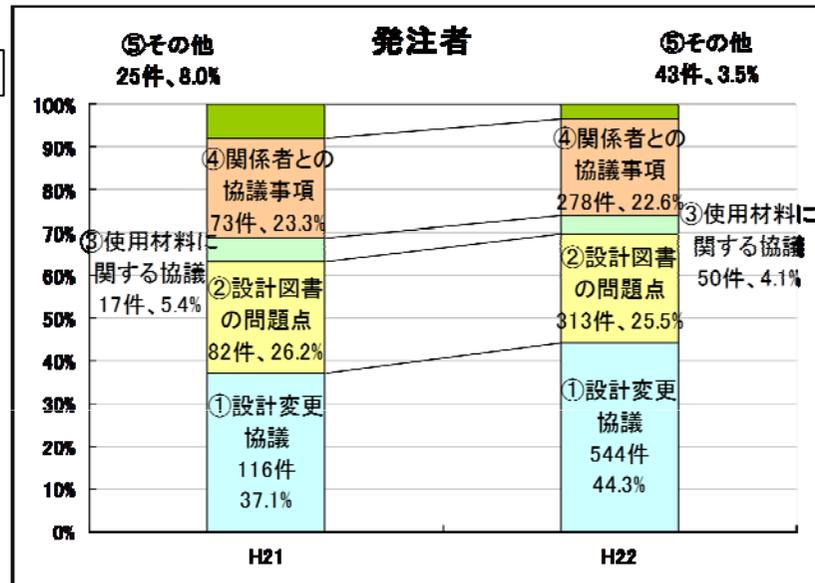
【回答のタイミング】発注者の6割、施工者の8割が回答が適切と回答。一部、回答が遅いとの意見あり



【どのような事項が遅かったか】

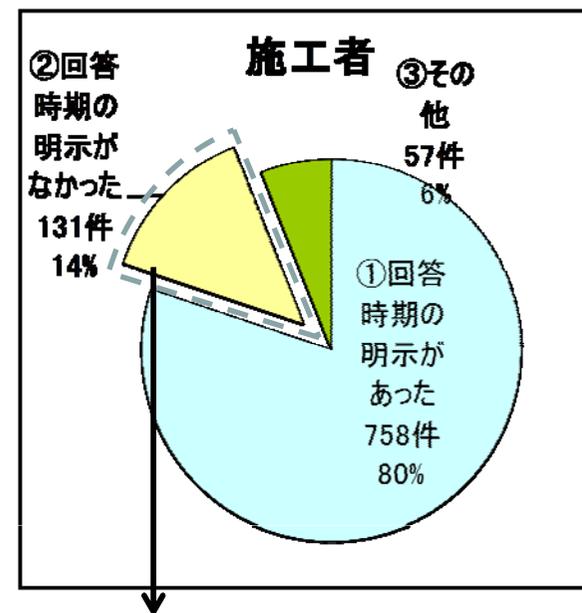
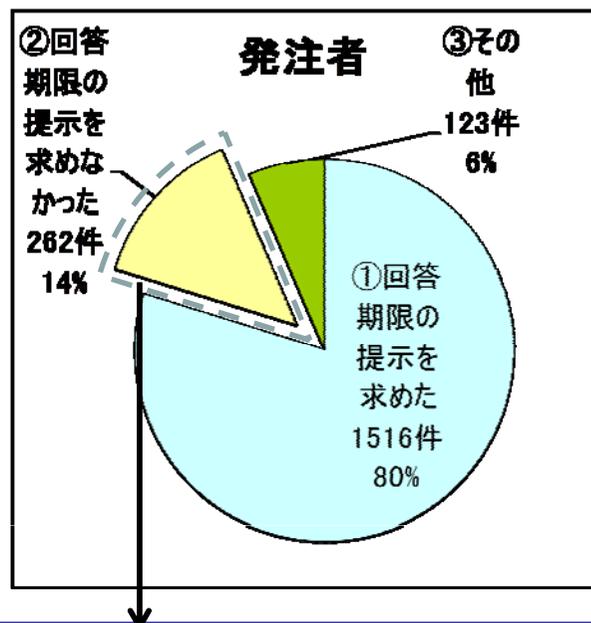
設計変更、設計図書の問題、関係者との協議などが多い(受発注者とも同傾向)

(複数回答項目)



ワンデーレスポンス(回答の対応)

【時間を要する回答の対応】 発注者の8割が回答期限の提示を求め、明示を行っている。



【回答期限の提示を受注者に求めなかった理由】

- ・コミュニケーションを密にし、回答の進行状況をお互い理解しているため(40件)
- ・現場だけで決定できない事項(関係者との協議等)や事務所の回答が遅いため(35件)

【回答時期の明示が発注者からなかったと回答した理由】

- ・設計の再検討や事務所の了解を得るのに時間が掛かるという回答だったため(48件)

ワンデーレスポンスについては、平成22年度に新たに取組んだ回答時期の明示・提示も含め、現在の重点方針に沿った取組がなされている。

しかし、関係者がいる協議や、検討が必要な設計変更などで**回答が遅いとの意見が見られることに対する新たな対応が必要**。

よって、平成23年度の重点方針では、**設計変更や関係者との調整が生じるような協議について、回答期限の連絡を徹底する**。

ワンデーレスポンス 重点方針

・アンケート結果等を踏まえ、「ワンデーレスポンス」の重点方針を以下のとおりとし、H23年度より、各地整等で展開

平成22年度 重点方針

- ①引き続き、全工事でワンデーレスポンスを実施する。
・H21年度より、河川・道路の直轄工事全てで実施中
- ②ASPの導入推進を図る。 (H22年度1,500件)
・H21年度下半期より、約1,000件の直轄工事で実施中
・試行状況について、受発注者にアンケート調査を実施中であり、課題の抽出、対応策を検討する。
- ③回答にあたっては、回答時期を明示する。
・適切に回答するため、また、全て1日で回答するという誤解を防ぐ意味でも、回答時期を明示する。
- ④必要に応じ、施工者からの回答期限の提示を求める。
・適切に回答をするため、施工者から回答期限の提示を求める。



平成23年度 重点方針

- ①引き続き、全工事でワンデーレスポンスを実施する。
・H21年度より、河川・道路の直轄工事全てで実施中
- ②ASPの導入推進を図る。
・H23年度は、約2,500件の直轄工事でASPの導入を図る。
- ③回答にあたっては、回答時期を明示する。
・適切に回答するため、また、全て1日で回答するという誤解を防ぐ意味でも、回答時期を明示する。
・特に、設計変更や、関係者との調整が生じるような協議について、「回答期限」の明示、回答期限を超過する場合の新たな「回答期限」の連絡を徹底する。
- ④必要に応じ、受注者からの回答期限の提示を求める。
・適切に回答をするため、受注者から回答期限の提示を求める。